黒 川 和 雄

KUROKAWA Kazuo (1920～2008)

大正9年(1920)11月2日東京府麻布生。農学士，獣医師，獣医学博士，大学教授。日本郵船株式会社の副社長黒川新次郎(のち国際汽船株式会社社長)と石川かね(兼子)の間に8男として生まれ，同渋谷区松濤で育ち，その後神奈川県鎌倉市と藤沢市で過ごす。

【学歴】 昭和17年(1942)東京府吉祥寺の成蹊学園高等学校(旧制)を卒業後，東京帝国大学農学部獣医学科に入学。昭和19年(1944)9月同大学卒業。昭和32年(1957)に「犬心臓糸状虫症の外科手術的療法」の研究で北海道大学から獣医学博士の称号が授与された。

【経歴】 東京帝国大学卒業後，同大学農学部の緊急科学研究嘱託に任ぜられ，昭和22年(1947)1月麻布獣医畜産専門学校講師，同年4月から日本獣医畜産専門学校教授，昭和24年(1949)4月日本獣医畜産大学助教授に就任し家畜外科学の教育と研究を担当。昭和33年(1958)4月同大学教授に昇任し，大学院研究科修士課程に，また，昭和39年(1964)4月同博士課程兼担教授に任ぜられた。昭和62年(1987)3月同大学定年退職，同年4月奉職40年に亘る功績に対し，名誉教授の称号が授与される。この間，東京農工大学，山口大学，帯広畜産大学の各農学部の非常勤講師を務めた。また，日本臨床獣医学会と日本獣医学会の評議員，日本比較臨床血液学会理事長，会長，日本獣医史学会理事長，獣医麻酔研究会副会長，獣医師免許審議会委員(国家試験委員)，衛生検査指針審議会委員，馬装蹄・牛削蹄の認定試験委員長(日本装蹄師会)などを歴任した。

【業績】 獣医大学で獣医(家畜)外科学を専攻し，幾多の業績(383編)をあげるとともに，第二次世界大戦後の獣医教育年限の延長(6年制)の達成について日本獣医師会教育研究担当理事として大変貢献し，昭和54年(1979)には約1ヶ月間，北欧西独の獣医大学の視察とモスクワにおける第21回世界獣医大会に出席し，多数の優秀な後進の育成に努めた。小動物の全身麻酔と開胸による心臓手術法の研究開発は，一般臨床家への応用を促し，人医の基礎データとしても高く評価された。また家畜の血液型の開発による輸血法の確立と外科免疫の研究では，高度の獣医内蔵外科の成功と実用化をもたらし均整獣医学の発展に多大の貢献をなした。長年の業績が評価され，平成6年(1994)11月には勲三等瑞宝章をうけた。平成20年(2008)年9月30日逝去。

【著書】家畜外科学［昭和50～平成4年(1975～1992)］，小動物の輸血と輸液［昭和62年(1987)］，日本装蹄発達史［平成元年(1989)］，犬フィラリア症の歴史―難病の克服まで―，犬の難病フィラリア症の実態。

〔参考文献〕黒川外科研究業績集(1～6巻)［昭和25年～60年(1950～1985)日本獣医畜産大学獣医外科学教室］，奉職40年の思い出［昭和62年(1987)黒川和雄］

深谷謙二(FUKAYA Kenji)

波 岡 茂 郎

NAMIOKA Shigeo(1929～2014)

昭和4年(1929)8月22日波岡三郎，鐘子の二男として兵庫県姫路市に生まれ，平成26年(2014)4月22日逝去，享年84歳，14歳で受洗し，洗礼名ルカを授与。獣医師，獣医細菌・衛生学者，昭和34年(1959)7月「Proteusに関する研究」により北海道大学から獣医学博士の学位を授与。平成8年(1996)「実験動物および産業動物としての，ノトバイオート・SPF豚の作出に関する研究」により日本獣医学会の越智賞(第8号)を授与。

【学歴】昭和17年(1942)4月旧制姫路中学校入学，同21年(1946)3月同校4年終了，同年4月盛岡高等農林専門学校入学，同24年(1949)4月北海道大学農学部獣医科学科入学，同27年(1952)3月卒業。

【経歴】昭和27年(1952)4月農林省家畜衛生試験場調査第一部の助手に任用，同年11月に同部細菌第2研究室に配属，34年(1959)9月研究第一部第1研究室に移動，40年(1965)4月に同室長に就任。この間，36年(1961)5月から37年6月まで「*Pasteurella*の分類学的研究」のため米国コーネル大学に出張。47年(1972)10月から翌年3月まで東京大学農学部獣医科講師を併任。49年(1974)4月に北海道大学獣医学部家畜内科学講座の教授として文部省に出向，61年(1986)4月に新設された実験動物学講座初代教授，同年5月獣医学部長に就任，平成5年(1993)3月に定年退官，北海道大学名誉教授。この間，学内では大学評議員，各種委員会委員，また学外では60年(1985)4月から平成9年(1997)3月まで日本獣医学会理事，その間の平成3年(1991)4月から6年(1994)3月まで副理事長を歴任。昭和63年(1988)から平成5年(1993)まで実験動物学会理事に就任。平成8年(1996)から